

令和 7 年 5 月 7 日

県内新設住宅着工戸数の令和 6 年度の状況 について

令和 6 年度の県内の新設住宅着工戸数は、前年度比 20.7%増の 5,927 戸となりました。その概要は次のとおりです。

令和 6 年度の新設住宅着工戸数について

本県の令和 6 年度の新設住宅着工戸数は 5,927 戸で、昨年度の 4,909 戸に比べてプラス 1,018 戸、20.7%増となり、昨年度より大幅に増加する結果となりました。

利用関係別戸数の内訳をみると、持家が 11.3%増の 2,703 戸、貸家が 15.4%増の 2,147 戸、分譲住宅が 75.7%増の 1,033 戸となりました。

また、建方別の内訳では、一戸建が 9.3%増の 3,187 戸、長屋建が 31.5%増の 1,151 戸、共同住宅が 42.0%増の 1,589 戸となりました。

令和 6 年度の新設住宅着工戸数は、分譲住宅の大幅増加、持家及び貸家の増加により、全体として昨年度から大きく増加しました。

特に 3 月は改正建築基準法施行前の駆け込み需要と考えられる着工戸数の増加が顕著に見られました。

今後の動向としては、駆け込み需要の反動減や令和 6 年能登半島地震の復興需要等の影響を注視していく必要があります。

関連ファイル

- ・ 県内新設住宅着工戸数の令和 6 年度状況について〈発表資料〉(PDF : 96KB)
- ・ 県内新設住宅着工戸数の令和 6 年度状況について〈表グラフ等〉(PDF : 416KB)